

しんりん くみあい だより

Vol.23
2015年
1月号

かが森林組合



きのした みさき
加賀市立三谷小学校6年 木ノ下心咲さんの作品


KAGA
FOREST ASSOCIATION
かが森林組合

ホームページアドレス
<http://www.kaga-forest.or.jp>

- 本 所 / 〒923-0181 石川県小松市長谷町ヨ244番地 TEL(0761)46-1341・FAX(0761)46-1177 ☎050-3802-2464
E-mail : komatsu@kaga-forest.or.jp
- 小松支所 / 〒923-0181 石川県小松市長谷町ヨ244番地 TEL(0761)46-1341・FAX(0761)46-1177 ☎050-3802-2464
E-mail : komatsu@kaga-forest.or.jp
- 加賀支所 / 〒922-0831 石川県加賀市幸町2丁目90番地 TEL(0761)72-0592・FAX(0761)72-0342 ☎050-3533-3417
E-mail : kaga@kaga-forest.or.jp
- 山中支所 / 〒922-0128 石川県加賀市山中温泉こおろぎ町イ72番地2 TEL(0761)78-0833・FAX(0761)78-2122 ☎050-3359-8576
E-mail : yamanaka@kaga-forest.or.jp
- 白山支所 / 〒920-2321 石川県白山市吉野ヶ6番地 TEL(076)255-8930・FAX(076)255-8931 ☎050-3385-2045
E-mail : hakusan@kaga-forest.or.jp
- 辰口出張所 / 〒923-1224 石川県能美市和気町い19番地 TEL(0761)52-0456・FAX(0761)52-0457 ☎050-3333-6201
E-mail : tatukuti@kaga-forest.or.jp
- 那谷工場 / 〒923-0336 石川県小松市那谷町金1番地 TEL(0761)65-7300・FAX(0761)65-7301 ☎050-3649-7387
E-mail : nata@kaga-forest.or.jp

組合長あいさつ



代表理事組合長

田中 隆平

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から組合の各事業について、格別のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年より組合員の皆様にお知らせし、事業を進めてまいりましたバイオマス発電用チップ加工施設もいよいよ完成し、稼働する運びとなりました。原材料の未利用材も順調に工場に入荷しており、安心しております。

今年、新幹線の開業とともに植樹祭という大きなイベントが待ち構えております。当組合管内で開催されることもあり、現在関係者一丸となって周辺整備を進めております。この植樹祭が一過性とならず、「木を活かし未来に届けるふるさとの森」というテーマにもあられるように植樹祭を契機に成熟した森林を皆伐し有効利用しながら所有者の皆様の森林所得収入を確保したいと考えています。現在、県森連が中心となり皆伐時の収入向上を目指した改革会議も開催されコスト削減等に取り組んでいます。この後にもコーナーとして記載してありますが、職員も、全国各地の先進的な取り組みを勉強しながら組合員の皆様の収益向上を第一に取り組む覚悟をしています。

また、内部的には、体制の再構築を図るために現在、経営コンサルタントに相談しながら、経営理念の見直し、業績管理、那谷工場の経営改善などに取り組んでいます。今年一年は当組合にとって大きなチェンジ、チャンスのある年になりたいと思っています。

今年も、役員一同一丸となって進めてまいりたいと思っていますので何卒よろしくお願い致します。

各種研修報告

認定森林施業プランナー中部ブロック 情報交換会に参加して

白山支所 業務課長 馬場 裕幸

開催日 8月28日～29日

参加者 県内外から30名

研修目的 情報交換及び相互のスキルアップ、
ネットワークの構築

研修内容

「地域の現状や事業実績、施業提案の
取り組みについて」などを発表

グループに分かれ、互いの取り組み状
況や提案書のポイントを整理

課題と解決策を検討し
グループごとに発表



課題

- ①不在村者の情報が乏しく、連絡がとれない。
- ②森林所有者自身が山林の境界が分からない。
- ③地区をまとめるリーダーがいない。
などの意見があった。

今後この課題が益々進行

プランナーは森林所有者に代わって地域の森林を管理する重要な存在であると自負しております。かが森林組合の森林施業プランナーもこれらの課題に知恵を絞り、解決策を導きながら、これからも水源涵養や木材生産など、組合員さんの利益還元や再造林につながる森林施業提案に努めますのでよろしくお願致します。



各種研修報告

全国森林組合職員連盟 全国研究集会に参加して

加賀支所 業務課長 奥村 一真

日程 9月4日～6日

場所 大分県日田市森林組合

《森林組合の概要》

市面積は加賀市と同規模
森林割合 80%
人工林率 77%
古くから林業、木材産業が発展した
地域



主な丸太径級φ24～28

小面積皆伐及び主伐・列状間伐を
推進し(適齢林齢で伐採)

主伐後は再造林を実施
低コスト林業(手厚い支援)

循環型林業の確立

感想

これからは低コストによる素材生産、主伐及び再造林に係る所有者の負担を軽減するシステム、新たな流通・販売システムによるコスト削減を行い、山主への利益還元を大きくし、再造林への意欲向上につなげていくことが必要だと実感しました。

島根県石中央森林組合を 視察して

辰口出張所長 南 謙吾

日程 10月8日～10日

場所 島根県浜田市石中央森林組合

《森林組合の概要》

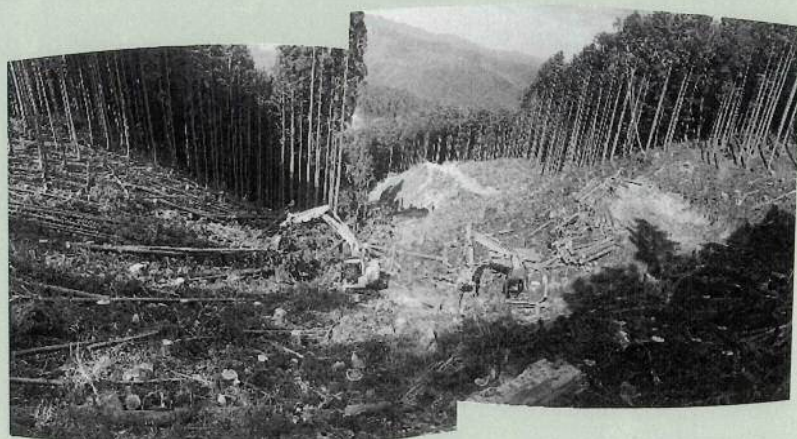
森林面積 五六千ha
人工林率 27%

10年後には補助金に頼らない
林業を目指す

その為の機械化を進め、コスト
分析実施

視察現場感想

市有林約40haを3カ年の伐採計画で実施中。
当組合に照し合せると現場状況に合わせ最適な大きさの検討が必要。
また、当組合は1回目間伐が終わり2回目間伐に入った管内もありこれからは、技術の向上、生産コスト分析を徹底しコスト削減を行う努力をし、少しでも多く所有者の方に材価を還元できるようにし、山に関心を持ってもらい、喜びを知ってもらうようにしていきたいと実感した。



山林大会

今年度は8月27日小松市民センターにて開催されました。地元ということもあり管内からは約250名の方々に参加頂き盛大に行われました。また、今回も当組合職員による発表が行われ(次ページ参照)参加された皆さんに新たな事業をアピールできたと思います。

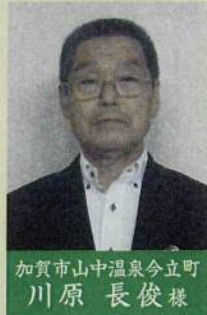


林業功労者賞



小松市大杉町 上内 友治 様
平成11年から森林組合の林産組合長を15年間長期に渡って務められ今日まで組合の運営と地域林業の振興・発展に貢献されている。特に不在村者が多い中、

集団間伐事業や環境基金事業を取り纏め下大杉町地域の森林整備を二通り行い、集団間伐40.16ha・環境基金事業49.49haの山林が整備された。現在も地区の総代や林産組合長を務めて頂いており、今年から2回目間伐に取り組みと共に境界管理にも力を注いで頂いている。



加賀市山中温泉今立町 川原 長俊 様
平成22年から森林組合の地区総代と林産組合長を務められ、今日まで組合の運営と地域林業の振興、発展に貢献されている。特に山中温泉今立町地

区は、森林の有する水源かん養や環境保全機能等の多面的機能を増進し、森林を健全な姿で次世代へ引き継いでいくため、これまで約100haの山林で林道や作業道等の路網整備や集団間伐を導入している林業地域であり、当地区の山林に関わる責任者として、その功績は顕著と認められた。現在、地区総代や林産組合長を始め、加賀市の「山中温泉ひがしたに地区保存会」の理事として、活躍されている。

協会功労者感謝状



白山市鶴来木町 小堀 甚九郎 様



育林コンクール



林野庁長官賞
小松市金野町 松下 隆 様



石川県知事賞
加賀市柏野町 中野 隆泰 様



石川県知事賞
小松市沢町 四ツ目 圭吾 様



山林協会会長賞
白山市白山町 土井原 健二 様



コマツの林業支援

◎栗津工場のボイラー燃料の切り替え

重油 → 未利用材

◎木材チップの大量消費システムの導入

未利用材の有効活用／雇用拡大／里山整備

これら林地残材を利活用する流通システムの構築が重要だと考えました。

そんな中、小松市を通じてコマツがバイオマスボイラーを導入し、栗津工場で現在使用している燃料を重油から切り替える意向を知り、燃料供給に協力することとなりました。

コマツと連携した持続可能な林業の構築

間伐から主伐へ、そして再造林する循環型林業をめざして



かが森林組合では年間約200haほどの集団間伐事業を行っていますが、現場では多くの曲り部分などの林地残材が発生しています。

チップの供給計画

那谷工場からのチップ供給量

平成26年度 2,400トン → 平成27年度 3,500トン → 平成28年~平成31年度 4,700トン → 平成32年度 7,000トン

※この表は、WB30%、生材WB60%の場合は1.75倍となる。

包括協定で締結した中にバイオマス発電等で使用するためのチップ供給量計画が示されました。平成26年は2400トン平成27年は3500トン平成28年~31年は4700トン7年後の平成32年で7000トンと計画されました。かが森林組合のみならず県森連や行政からの協力を得ながら収集しコマツへ供給していきたいと思えます。

コマツ、県、県森連が包括連携協定を締結



加賀地区における未利用間伐材の有効活用にむけたモデル的な取り組みを契機に平成26年2月4日にコマツと、県、森林組合連合会の三者によって間伐材のバイオマス事業を中心とした林業活性化に関する包括協定が締結されました。

供給への取り組みとして、未利用材の供給計画や作業システムの検討会を職員、協力会社全員で行いました。組織としてこの計画に取り組み、現場で作業を行う協力会社の方々の理解と協力が必要不可欠です。

供給への取り組み



作業システムの検討会



職員・協力会社全員で勉強会

課題と今後の取り組み



「植える」→「育てる」→「収穫する」→「有効活用する」という持続可能な林業の構築、つまり循環型林業を定着させ、林業・木材産業の展開を目指して行きたいと思えます。

課題と今後の取り組み

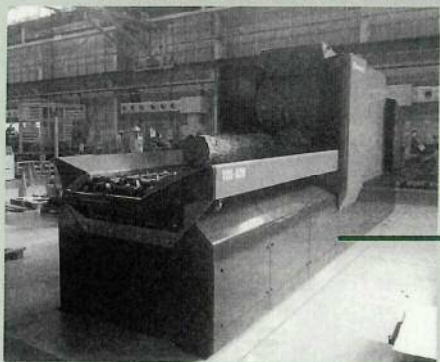
- ◎木材価格の低迷
- ◎伐期を超過した森林の増加
- ◎森林所有者の世代交代による境界不明瞭の加速化

林業の停滞

森林整備は充実されつつあるものの未だ木材価格の低迷は続き伐期を超過した森林が増え、所有者の世代交代により境界不明瞭な森林はますます加速し、林業が停滞しています。

チップ工場進捗状況

9月26日地鎮祭、11月9日、上棟があり当初予定より少し遅れていますが1月上旬に機械が設置され試運転を行う状況にあります。2月には本格稼働の予定です。



導入機械



搬入されたチップ原木は計量器によりトン数を計ります。



各現場より大量のチップ原木が搬入されました。
林地残材を有効活用出来たことにより従来よりも間伐現場がきれいに仕上がりました。

支所コーナー

第66回全国植樹祭 開催準備

みなさんご存じの通り来年度「第66回全国植樹祭」が小松市木場瀧公園中央園地にて開催されます。植樹会場となる憩いの森では、6千人の人達が訪れ植樹することになっており、その準備として、伐採された竹や雑木をチップ破砕にして、そのチップを歩道に敷均し有効活用する為の整備をしております。また、式典・植樹会場である木場瀧公園や憩いの森周辺では、荒廃になった竹林が見苦しく県・市・森林所有者のご協力で竹林整備を行っています。竹林所有者を調査するのに手間がかかっていますがまとまり次第整備に取り掛かり年度内には作業を終わらせ、全国各地からの来場者達を快くお招きすることになっていきます。

(写真は、小松市木場町で行われた竹林整備です。)

小松支所・辰口出張所

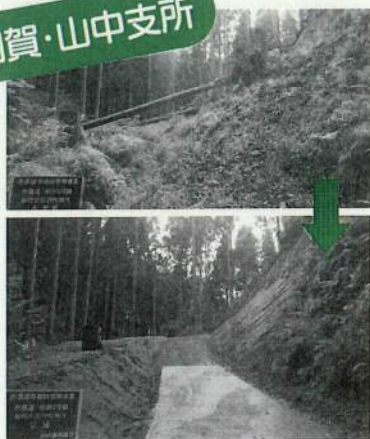


作業道の災害修復対策

ここ数年、全国で局地的な集中豪雨が多発する傾向にあり、昨年も「平成26年8月豪雨」と命名された記録的な豪雨により、広島市を始め各地で土砂災害が発生しました。管内でも一昨年に引き続き数路線の林道や作業道が被災しました。作業道は実施主体以外の者を管理者とすることができるところから、当組合では各集落の林産組合に管理を委ねているところではありますが、ゲリラ的に多発する集中豪雨により、被害の規模が大型化し、林産組合に管理を兼ねて修復仕事を委ねることが困難な状況にあります。このため、今年度から作業道が被災した場合に備えて修復費を積立て、各地区から補修や修繕に係る申し込みを受けた場合は、被災規模に応じて外注することになり、加賀・山中管内では、6地区の7路線で補修や修繕工事を行いました。

(写真：加賀市桂谷町の桂谷2号線の被災時と修復状況)

加賀・山中支所



8月1日付で、かが森林組合白山支所に配属になった松倉です。

白山支所の松倉です。組合員の皆様のために頑張ります! 今後ともよろしくお願いいたします。



これまでの、森林と関係性が薄い生活から一変、山林に携わる生活が始まり6か月が過ぎました。

現場では、時には草や雑木だらけで先が見えない山林、時には勾配がきつくて崖にしか見えないような山林。これまでの人生で体験したことのない山林をかき分けて進んでいくことも多々あり、先輩たちに置いて行かれないように頑張つて行っています。

この間だけでも、組合員の方や現場の方々も多く出会ったり、険しい白山市の山を駆け上ったり、盛りだくさんの6か月でした。もちろんこれからもっと多くの仕事、現場がまだまだ私を待っていると思います。不安もありますが、それが楽しみであったりもします。何分不慣れな点から、ご迷惑をお掛けすると思いますが、一日も早く仕事を覚えて皆様のお役に立ちたいと考えています。

白山支所

地球にやさしい快適木材加工を創造します



有限
会社

武生松源商店

本社・工場 福井県越前市小野谷町 4-3-6
倉庫・鋸加工所 福井県越前市本保町 2 1

☎915-0054 ☎0778-24-1111 FAX0778-24-1113
☎915-0806 ☎0778-21-0930 FAX0778-21-0930

支所コーナー

那谷工場



那谷工場では、春先に「里山・里湖・自然環境の保全」を目的とした事業で滝ヶ原町にある「鞍掛山トンボの楽園」に八橋を設置する木材材料にかが杉平角と丸棒に加工した杭木を供給しました。(延長133m) また、11月8日には「全国植樹祭カウントダウンイベント」の一環で小松駅裏の市民公園にて緑の少年団25団体による花植を行うため、かが杉を当工場加工、作製した板張り仕様のプランター26個を供給しました。これからも、かが杉を様々な用途に活用して行きたいと思えます。



お知らせ

2～3月にかけて恒例の座談会を開催します。

日程が決まりましたら、ホームページやチラシにてご案内させていただきます。粗品を用意してお待ちしておりますのでお気軽にご参加下さい。



組合クイズ

問題 合体漢字 下の漢字を組み合わせ、2字熟語を完成させてね。

ノ + 女 + 正 + 用 + 二 + 日 + 束 + 人

官製はがきに答えと住所、お名前を記入し、右記の宛先まで郵送してください。抽選で正解者10名様に、ハムセットをプレゼントいたします。
なお、賞品の発送をもって発表にさせていただきます。

宛先 〒923-0181 小松市長谷町ヨ244番地 かが森林組合 本所 組合クイズ係
締切 平成27年1月20日(火)まで 賞品の発送は2月上旬ごろになります。

※正解はホームページにて発表します。

かが森林組合

長年森林組合の役員や林産組合長として森林組合の発展に尽力され、役員を退任された現在、地元山林からしいたげ原木を生産し森林組合へ出荷しており、積極的に山仕事に携わっております。



農林漁業まつり

世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ

こがるmini



G2000T G-START



ハスクバーナ

ZENOAH

ゼノア福井県総代理店
北陸地区サービス&パーツセンター

北島林機 株式会社

本社 〒910-2177 福井市稲津町50-1-1
TEL(0776)41-3618 FAX(0776)41-3339
支店 〒919-0131 南条郡南越前町今庄115-5-1
TEL(0778)45-2626 FAX(0778)45-2627